

英 語

たくさん聞いて、話して、書いて、読む—— Practice makes perfect !

I. 学習アドバイス

英語力をアップさせるためにはまず毎日英語に触れることです。それもただ英文を眺めるだけでなく、実際に「聞く」「話す」「書く」「読む」の4つにバランスよく取り組んでください。①正しい発音をよく聞き、②それをまねて何度も自分で発話し、③正しく書けるようにすることです。この3つを繰り返しながら、英語のルールを身につけていきましょう。そして、ある程度ルールが身についたら、もう一つ大切なこととして、④英語をたくさん読むということに取り組んでください。

また近年の傾向として、メール文や広告文など情報が多く含まれた文章の読解問題が増加しています。従来の物語文や説明文だけでなく、グラフや図表を含む英文を読む練習をしましょう。さまざまなタイプの英文を読むことにより、どんな設問形式でも臨機応変に対応できる、総合力がつかえます。

◇リスニング

Aが基礎、Bが標準、Cが難関という構成でした。AとBは英文が2回読み上げられましたが、Cは1回読みでした。2回読みの場合は1回目は大まかに内容をつかみ、2回目で設問になっている部分にフォーカスして確認していくのがよいでしょう。Cは設問の選択肢からある程度、質問を想定しておいてから英文を集中して聞きましょう。途中で情報が変わったり、発言が肯定の意味なのか、それとも否定の表現なのかをきちんと聞き分けましょう。

◇基礎

①の語彙・文法の問題は確実に正解できたでしょうか。きちんとスペルを覚えていなかった単語やきちんと理解ができていなかった文法事項はこの機会に確実に身につけましょう。②の読解問題はチラシの読み取りです。どこにどんな情報が書かれているのかを把握して、速やかに探せるようにしましょう。

◇標準

①の文法・語法の問題は空所補充問題形式で文法力、単語力、熟語表現などが問われています。間違ったところは英文単位で音読して覚えてもらうようにしてください。②の読解問題はメール文の読解で日常生活における様子をつづった内容でした。誰がいつ何をしたのかを捉えながら読む癖をつけましょう。

◇難関

①の文法・語法の問題は整序英作文問題でした。これは「英文を書く」上で必要な文法と語順が問われています。主語は何か、動詞は何か、文を修飾する形容詞や副詞はどこに置くのかが曖昧だと正しい解答にたどり着けませんので、練習を重ねてください。②の読解問題は表やグラフと本文を組み合わせて英文を読み進めていきます。数値がたくさん出てくるので、数量表現にも慣れていきましょう。

II. 高校受験・大学受験に向けて

高校受験にしても、大学受験にしても、基礎の基礎を学ぶ中学英語をおろそかにしては、本当の英語力を身につけることは困難です。実力は積み上げ式に伸びるものです。中学生の間に習得する知識は、将来、社会に出てからも役に立つものです。

まだ英語を学習し始めたばかりのみなさんですので、教科書を中心とする学校の授業で学ぶことを一つひとつ大切に吸収しましょう。その際にできるだけ音読することを心がけるようにしてください。

またできるだけ早いうちに語彙を増やすようにしていきましょう。単語は単語一つで覚えていくのではなく、よく使われるフレーズ、まとまりで覚えていくことがコツです。語彙力がついてくれば、文章を読むスピードがどんどん上がります。特に今回のテストで時間が足りないと感じた人は毎日少しずつでも単語を覚えていく習慣をつけていきましょう。

数 学

「基礎」を大切に、数学の学習の基本姿勢を身につけよう

I. 学習アドバイス

◇基礎

教科書の例題や問といった基本レベルの小問(一部小学校の算数の問題)10問を10分間で解く形で出題しました。解けない小問があった人や、時間が足りなかった人は、基本的な考え方や今後必要となる計算力がまだ身につけていません。つまり、まずいた箇所をしっかりと復習することと合わせ、それぞれの分野の基本事項についてはしっかりと確認しておきましょう。また、計算力についても今のうちにしっかりと鍛えておきましょう。

◇標準

基礎よりも少し複雑な計算や、考察を必要とする小問5問と標準レベルの大問2問を25分間で解く形で出題しました。①の小問では、正確に速く計算する力を身につけると合わせ、計算結果の符号の判定、文字を使った数量の表記、樹形図を用いた場合の数の数え上げ、斜めに切った円柱の体積の考え方、などの基本事項についても確認しておきましょう。②の規則性の発見と文字式の利用の問題では、文字を使った個数の表現など振り返っておきましょう。③の平面図形の問題では、小学校で学んだ拡大・縮小の考え方などの復習を行いましょ。

◇難関

考え方の正確な理解や図形の性質を見抜くなどが求められる小問3問とやや難しいレベルの大問2問を25分間で解く形で出題しました。①の小問では、2つの自然数を同じ自然数で割った余りが与えられたときの割った自然数、正三角形の周りを円が1周するときに通る部分の面積、データの中央値として考えられる最大値など、復習しておきましょう。②の文字式の利用と数の決定の問題では、2枚のカードに書かれた数字の和の範囲と持ち点の関係からどのように絞って決定していくかについて、しっかりと振り返っておきましょう。③の空間図形の問題では、立体の表面積や体積の求め方についてきちんと復習しておきましょう。

小学校で学んだ算数と中学校・高校と学んでいく数学の違いは何でしょうか。算数と数学の大きな違いは、学ぶ目的にあります。

算数では、私たちが日常生活をしていく中で必要な、数量や図形についての基本的な知識や技能を身につけることに目的があります。つまり、場面に応じて問題を解いて答えを出す力が問われます。それに対して数学では、数量や図形についての概念や原理などの理解を深め、数学という学問を通して論理的に物事を考える力をつけることに目的があります。つまり、答えよりもそれを導くプロセスに重きが置かれるのです。

さらに、中学校と高校の数学の違いは何でしょうか。大きな違いの一つとして、学習内容が具体的であるか抽象的であるかということが挙げられます。

中学校では、算数から数学への移り変わりで、個々の問題を系統的に学ぶということを少しずつ学んでいきますが、高校では具体的な事柄を扱う問題は減り、抽象的な概念を扱っていくこととなります。ですから、中学校と同じように勉強していたのでは、高校では学習内容に追いつけなくなる可能性が高いのです。

新しい概念を学ぶ際でも、必ず必要となるのは、基礎的な計算力(例えば、四則演算や文字式、方程式など)です。この基礎的な力が身につけていなければ、高校で学習する数学を理解することは大変困難となります。計算力は演習量に比例しますので、計算が苦手でケアレスミスが減らない生徒は、今のうちから一つひとつ正しい計算方法を定着させておく必要があります。中1の基本的な内容こそ、数学で最も大切な内容であると言っても過言ではありません。

II. 高校受験・大学受験に向けて

高校受験・大学受験に向けて学習を進めていく上で、数学に関して最も重要なことは「基礎」を疎かにしないということです。ここでいう基礎とは、易しい事柄ということではなく、「起点となる考え方」ということです。

受験が近づくと、気が焦って問題を解いてはそ

の解き方を覚える、という学習に走りがちですが、その方法だと全く同じ形式の問題にしか通用しません。まずは「正しい計算手順を身につける」「図や表、グラフを描いて考える」といった基本姿勢を日ごろの学習で地道に積み重ねることで身につけましょう。その上で、解法の考え方の根本を理解した学習を進めて行くことが重要です。どんな複雑な問題も、基礎の積み重ねであるということを肝に銘じて、学習を進めましょう。

国

語

現代文は読解の基本を徹底、幅広い知識を持つことが重要

I. 学習アドバイス

◇基礎

現代文：

A の知識問題は漢字からの出題です。間違えてしまった人はしっかり復習しましょう。

B は説明的文章からの出題です。説明的文章はどれも苦手だという人は「接続語」と「指示語」を丁寧に押さえていくことを意識してください。この2点をあやふやにしたままで文章を読んでも、内容を正確に読むことはできません。今回は接続語の問題と傍線部の直前・直後を押さえることで解答できる問題を出題しました。間違えてしまった人は解答根拠がどこかを一つひとつ探すようにしましょう。

C 問題は詩の読解問題でした。自由な解釈ができそうに思える詩の問題ですが、設問として問われるのは個人の感想ではありません。あくまでも本文から読み解けるものが正解になりますから空想にふけることなく客観的に読むことを意識しましょう。

◇標準

現代文：

A で出題した口語文法は普段使っている日本語を体系的に考え直すよい機会です。間違えてしまった人は丁寧に復習してください。

B は小説の問題でした。物語・小説といった文学的文章は、あくまで客観的に読むことが大切です。ある人はこう感じるけれど、別の人はそうは感じない、というような内容は設問として成立しません。問われるのは文章内に根拠がある内容なのです。ですから、自分の感性にたよらず、思い込みにおちいらず、客観的に文章を読むことに努めましょう。

C は実用的文章からの出題でした。今回はSDGsをテーマとした図表などの読み取り問題です。複数の資料を横断的に見て解答する問題は、先に設問を見て何が問われているかを把握してから該当資料にあたりましょう。

◇難関

現代文：

A の知識問題は季語や対義語、文学史などからの出題でした。

B の説明的文章は基礎で出題した文章よりも長いので、制限時間内で読むには文章の話題、具体例、要旨を区別して読むことが大切です。その文章が、何について、どういうことを言おうとして、どういう例を挙げて説明しているのか、を読み取ることが説明文の読解になります。もちろん文章の内容が難しい場合もありますが、内容以前に、文章の読み方自体をしっかりと確立させることが重要なのです。本文を読むことと同じぐらい重要なのが、設問を読むことです。何について問っている問題なのかを正しくつかまなければ正解にたどりつくことはできません。設問の読解、選択肢の読解と、どこまでも「読む力」が要求されるのです。何を答えさせたいのかという、問題作成者の意図を正しく読める人が、国語で高得点を取る人であると言ってもよいでしょう。

C は「標準」同様、実用的文章からの出題で、子どもの出生数がテーマです。問1は資料を参考に十干十二支の暦を答えるというちょっと変わった問題でした。実用的文章の問題が苦手な生徒は難しいという先入観を持たず取り組んでください。

II. 高校受験・大学受験に向けて

■知識をつけよう！

漢字・語句の意味に始まり、四字熟語・慣用句・ことわざ・文法・敬語・文学史、さらには詩や古文の知識など、国語で覚えるべきことはたくさんあります。

これらを幅広く身につけることで国語の得点力を確かなものにすることができます。まずは基礎的な知識を確認しましょう。その中で苦手な分野は集中して覚えるようにしてください。後回しにすると結局いつまでたってもやらないことが多いので、思い立ったときに始めましょう。

文法が苦手な人は、品詞の基礎から学習していきましょう。文法は規則なので、コツさえつかめれば必ずできるようになります。

■多くの問題に取り組もう！

積極的に様々な文章を読み、多くの問題を解くことを心がけましょう。国語を「どう勉強したらよいか」の答えは、「国語の問題を解く」ことの中にあります。国語力をつける方法はいろいろありますが、最終的には「自分で」考える以外にはないのです。

国語は「何かを習わないと次へ進めない」という部分が少ない教科です。古文・漢文など以外は高校や大学の入試問題にいつでも取り組むことができます。ですから、中学1年生が高校入試の問題を解いたり、中学生のうちから大学入試の問題を解いたりしても、何もおかしいことはありません。

■辞書を引こう！

言葉の知識を増やすことは、読む・書く・考えるために大切なことです。国語は語学の一つですから、わからない言葉を辞書で調べるのはあたりまえのことです。

自分ではわかっているつもり言葉でも、実は誤ってとらえている場合が想像以上に多いものです。こまめに辞書を引くことで自分の言葉の世界を広げていくことができます。

■本を読もう！

「本離れ」ということが言われるようになって久しいのですが、国語の学力と読書の習慣の関係は密接に結びついています。どちらが先かは別にして、本をよく読む人は国語ができることが多いのは確かでしょう。

本をよく読むことの利点は様々ですが、まずはたくさん言葉を知ることができることが挙げられます。私たちはほとんどの言葉を無意識のうちに覚えていきますが、言葉に触れる機会が多いほど、覚える言葉の数も比例して多くなります。

また、本をたくさん読むと、読むスピードが速くなります。読む速度が速いほど、本文も問題文も読む時間が短くて済むので、その分考える時間にまわすことができます。

本を読む習慣がある人には、ジャンルにこだわらず様々な文章を読むことをすすめます。中高生向けに書かれた新書などにも手をのばしてみましょう。

本を読むのが苦手な人は、まずは手近な本から読んでみましょう。図書館や図書室で借りてみる、家にある読んだことのない本を読んでみる、その第一歩が大切です。

成績分析データ

(中1生部門)

◆設問別正答率: 英語

レベル	大問	小問	解答番号	出題項目①	出題項目②	出題項目③	配点	正解	正答率
基礎	—	A 1	1	リスニング	短い対話文の聞き取り	対話の内容を聞き取りイラストを選択する	3	3	91.1%
		A 2	2	リスニング	短い対話文の聞き取り	対話の内容を聞き取りイラストを選択する	3	2	97.9%
		A 3	3	リスニング	短い対話文の聞き取り	対話の内容を聞き取りイラストを選択する	3	1	93.3%
		A 4	4	リスニング	短い対話文の聞き取り	対話の内容を聞き取りイラストを選択する	3	4	98.1%
		A 5	5	リスニング	短い対話文の聞き取り	対話の内容を聞き取りイラストを選択する	3	2	92.0%
標準	—	B 1	6	リスニング	モノローグの聞き取り	話の内容を理解する	5	2	80.5%
		B 2	7	リスニング	モノローグの聞き取り	話の内容を理解する	5	3	66.9%
		B 3	8	リスニング	モノローグの聞き取り	話の内容を理解する	5	1	83.0%
		B 4	9	リスニング	モノローグの聞き取り	話の内容を理解する	5	2	74.6%
		B 5	10	リスニング	モノローグの聞き取り	話の内容を理解する	5	3	24.1%
難関	—	C 1	11	リスニング	短い対話文の聞き取り	話の内容を理解する	5	4	75.1%
		C 2	12	リスニング	短い対話文の聞き取り	話の内容を理解する	5	2	25.8%
		C 3	13	リスニング	短い対話文の聞き取り	話の内容を理解する	5	2	41.0%
基礎	1	1	14	文法・語法の知識	スペリング	単語 chair	3	1	51.5%
		2	15	文法・語法の知識	スペリング	単語 umbrella	3	4	91.9%
		3	16	文法・語法の知識	スペリング	単語 science	3	2	72.3%
		4	17	文法・語法の知識	スペリング	単語 leaf	3	1	66.5%
		5	18	文法・語法の知識	会話表現	挨拶表現	3	3	97.2%
		6	19	文法・語法の知識	会話表現	御礼を表す表現	3	1	96.8%
		7	20	文法・語法の知識	語彙	対義語 warm⇔cool	3	1	45.4%
		8	21	文法・語法の知識	空所補充問題	be動詞の文	3	3	93.4%
		9	22	文法・語法の知識	空所補充問題	一般動詞の疑問文	3	4	61.3%
		10	23	文法・語法の知識	空所補充問題	助動詞 canの用法	3	1	37.9%
標準	2	1	24	英文読解	広告文・図表の読み取り	内容理解	3	3	79.6%
		2	25	英文読解	広告文・図表の読み取り	内容理解	3	1	48.9%
		3ア	26	英文読解	広告文・図表の読み取り	内容理解	3	2	88.1%
		3イ	27	英文読解	広告文・図表の読み取り	内容理解	3	1	67.0%
		3ウ	28	英文読解	広告文・図表の読み取り	内容理解	3	1	85.8%
標準	1	1	29	文法・語法の知識	空所補充問題	be動詞の文	3	3	36.0%
		2	30	文法・語法の知識	空所補充問題	三単現の否定文	3	4	33.1%
		3	31	文法・語法の知識	空所補充問題	助動詞 canの用法	3	4	59.6%
		4	32	文法・語法の知識	空所補充問題	疑問詞の疑問文 what ~ ?	3	1	84.2%
		5	33	文法・語法の知識	空所補充問題	冠詞 a, an	3	3	72.3%
		6	34	文法・語法の知識	空所補充問題	語彙 teacher	3	1	89.0%
		7	35	文法・語法の知識	空所補充問題	語彙 use	3	4	72.7%
		8	36	文法・語法の知識	空所補充問題	時刻を表す前置詞 at	3	2	63.2%
		9	37	文法・語法の知識	空所補充問題	熟語表現 get up	3	3	72.4%
		10	38	文法・語法の知識	空所補充問題	熟語表現 listen to	3	2	72.1%
標準	2	1	39	英文読解	随筆文の読解	段落把握	5	2	68.8%
		2	40	英文読解	随筆文の読解	段落把握	5	4	66.7%
		3	41	英文読解	随筆文の読解	段落把握	5	3	69.5%
		4	42	英文読解	随筆文の読解	段落把握	5	1	71.3%
		5	43	英文読解	随筆文の読解	内容一致	5	4	56.5%
難関	1	1	44,45	文法・語法の知識	整序英作文	頻度を表す副詞 always	5	4,2 [完答]	27.5%
		2	46,47	文法・語法の知識	整序英作文	疑問詞の疑問文 what kind of ~ ?	5	4,1 [完答]	54.3%
		3	48,49	文法・語法の知識	整序英作文	三単現の否定文	5	3,4 [完答]	36.6%
		4	50,51	文法・語法の知識	整序英作文	熟語表現 a lot of	5	2,1 [完答]	39.3%
		5	52,53	文法・語法の知識	整序英作文	形容詞の用法	5	2,1 [完答]	20.3%
	2	1	54	英文読解	説明文の読解	数値情報の把握	5	1	55.8%
		2	55	英文読解	説明文の読解	内容理解	5	3	56.3%
		3	56	英文読解	説明文の読解	内容理解	5	1	48.7%
4	57	英文読解	説明文の読解	数値情報の把握	5	1	28.1%		

◆設問別正答率: 数学

レベル	大問	小問	解答番号	出題項目①	出題項目②	出題項目③	配点	正解	正答率	
基礎	1	(1)	ア	数と式	乗法と除法	四則の混ざった計算	6	3	95.0%	
		(2)	イ	数と式	乗法と除法	四則の混ざった計算	6	1	83.7%	
		(3)	ウ	数と式	約数と倍数	素数の判定	6	2	70.5%	
		(4)	エ	数と式	文字式の計算	1次式の計算	6	1	33.3%	
		(5)	オ	数と式	文字式の計算	1次式の計算	6	2	44.2%	
		(6)	カ	数と式	文字式の利用	代金や個数に関して文字式で表す	6	4	75.6%	
	2	(1)	ア	データの活用	場合の数の数え上げ	表や樹形図を使って数え上げる	6	4	49.7%	
		(2)	イ	データの活用	度数の分布	ヒストグラムの読み取り	6	3	79.2%	
		3	(1)	ア	図形	平行四辺形	特別な平行四辺形(ひし形・正方形)	6	2	73.5%
(2)	イ		図形	立体の体積と表面積	角柱の表面積の求め方	6	3	57.4%		
標準	1	(1)	ア	数と式	乗法と除法	四則の混ざった計算	6	4	53.4%	
		(2)	イ	数と式	文字を使った式	正負の判定	6	2	54.9%	
		(3)	ウ	図形	おうぎ形	円周の長さを求める	6	2	24.8%	
		(4)	エ	データの活用	場合の数の数え上げ	表や樹形図を使って数え上げる	6	3	39.9%	
		(5)	オ	図形	立体の体積と表面積	円柱の体積の求め方	6	2	59.3%	
	2		アイ	数と式	文字式の利用	規則性を利用した計算	2	12	75.9%	
			ウ	数と式	文字式の利用	規則性を利用した計算	2	4	76.8%	
			エ	数と式	文字式の利用	規則性を利用した計算	2	3	77.9%	
			オ	数と式	文字式の利用	規則性を利用した計算	2	7	73.9%	
			カキ	数と式	文字式の利用	規則性を利用した計算	2	15	71.0%	
			ク	数と式	文字式の利用	規則性を利用した計算	2	9	67.0%	
			ケ	数と式	文字式の利用	個数に関して文字式で表す	3	8	63.9%	
			コ	数と式	文字式の利用	個数に関して文字式で表す	3	2	63.9%	
		サ	数と式	文字式の利用	個数に関して文字式で表す	3	1	62.6%		
		シ	数と式	文字式の利用	個数に関して文字式で表す	4	4	51.4%		
	3	(1)	ア	図形	相似な図形	拡大・縮小の関係	4	3	80.9%	
		(1)	イウ	図形	相似な図形	拡大・縮小の関係	4	12	79.1%	
		(2)	エ	図形	相似な図形	拡大・縮小の関係	4	5	50.3%	
		(3)	オカ	図形	相似な図形	拡大・縮小の関係	4	28	50.9%	
		(4)	キク	図形	合同な図形	三角形の角の大きさ	4	56	32.2%	
		(4)	ケコ	図形	合同な図形	三角形の角の大きさ	5	62	29.7%	
	難関	1	(1)	アイ	数と式	約数と倍数	最大公約数の利用	8	24	34.0%
			(2)	ウ,エ,オ	図形	図形の移動	おうぎ形や円を含む図形の面積	8	4,60	5.3%
(3)			カキ,ク	データの活用	度数の分布	度数分布表の用語、読み取り	8	63,0	22.2%	
2			ア	数と式	文字式の利用	正しい数の組合せの決定	2	3	72.9%	
			イウ	数と式	文字式の利用	正しい数の組合せの決定	2	19	66.2%	
			エ	数と式	文字式の利用	文字式を利用した数の決定	2	3	42.3%	
			オカ	数と式	文字式の利用	文字式を利用した計算	2	34	17.2%	
			キク	数と式	文字式の利用	文字式を利用した計算	2	27	21.8%	
			ケコ	数と式	文字式の利用	文字式を利用した数の決定	2	18	29.4%	
			サ	数と式	文字式の利用	文字式を利用した数の決定	2	9	30.6%	
		シ,ス	数と式	文字式の利用	文字式を利用した数の決定	2	1,3	29.4%		
		セ,ソ	数と式	文字式の利用	文字式を利用した数の決定	2	7,9	26.3%		
3		(1)	アイウ	図形	立体の体積と表面積	複雑な立体の体積	3	168	26.5%	
		(1)	エオカ	図形	立体の体積と表面積	複雑な立体の表面積	3	272	11.4%	
		(2)	キクケ	図形	立体の体積と表面積	複雑な立体の体積	4	136	7.8%	
		(2)	コサシ	図形	立体の体積と表面積	複雑な立体の表面積	4	288	1.3%	
		(3)	スセソ,タ	図形	立体の体積と表面積	複雑な立体の体積	4	136,3	1.8%	

◆設問別正答率：国語

レベル	大問	小問	解答番号	出題項目①	出題項目②	出題項目③	配点	正解	正答率
基礎	1	A (1)	1	漢字・語彙・文法	漢字	「告」の字の問題	2	4	95.7%
		A (2)	2	漢字・語彙・文法	漢字	「任」の字の問題	2	1	93.1%
		A (3)	3	漢字・語彙・文法	漢字	「因」の字の問題	2	3	85.2%
		A (4)	4	漢字・語彙・文法	漢字	「揮」の字の問題	2	3	77.5%
		A (5)	5	漢字・語彙・文法	漢字	「困」の字の問題	2	1	53.4%
	2	B - a	6	評論・小説	空欄補充問題	接続語の問題	3	2	60.2%
		B - b	7	評論・小説	空欄補充問題	接続語の問題	3	3	61.2%
		B 二	8	評論・小説	内容把握問題	傍線部1の内容説明問題	7	1	96.3%
		B 三	9	評論・小説	内容把握問題	傍線部2の内容説明問題	7	3	67.9%
		B 四	10	評論・小説	内容把握問題	傍線部3の内容説明問題	7	3	53.0%
		B 五	11	評論・小説	内容把握問題	小見出しをつける問題	3	4	79.7%
		C 一	12	詩・実用的文章	内容把握問題	「根っこ」の内容説明問題	7	3	81.2%
		C 二	13	詩・実用的文章	内容説明問題	傍線部「太陽」の内容説明問題	7	1	61.4%
C 三	14,15	詩・実用的文章	表現技法の問題	表現技法の問題	6	1,5 [順不同]	46.2%		
標準	1	A (1)	16	漢字・語彙・文法	口語文法	「の」の問題	2	4	60.6%
		A (2)	17	漢字・語彙・文法	口語文法	「が」の問題	2	3	74.8%
		A (3)	18	漢字・語彙・文法	口語文法	「れる」の問題	2	4	81.4%
		A (4)	19	漢字・語彙・文法	口語文法	「に」の問題	2	3	71.1%
		A (5)	20	漢字・語彙・文法	口語文法	「で」の問題	2	3	68.7%
	2	B - a	21	評論・小説	語句の意味の問題	「論す」の意味の問題	4	2	75.6%
		B - b	22	評論・小説	語句の意味の問題	「小首を傾げる」の意味の問題	4	1	65.6%
		B 二	23	評論・小説	心情説明問題	傍線部1の心情説明問題	6	1	77.8%
		B 三	24	評論・小説	理由説明問題	傍線部2の理由説明問題	6	2	55.3%
		B 四	25	評論・小説	理由説明問題	傍線部3の理由説明問題	7	2	61.4%
		B 五	26	評論・小説	表現意図の問題	傍線部4の比喩の説明問題	7	4	42.6%
		B 六	27	評論・小説	心情把握の問題	傍線部5の心情把握問題	6	3	72.7%
		C 一	28	詩・実用的文章	図表資料の読み取り	資料1の内容把握	6	4	66.5%
		C 二	29	詩・実用的文章	文字資料の読み取り	資料2の内容把握	6	2	27.2%
		C 三	30	詩・実用的文章	文字資料の読み取り	資料3の内容説明	6	3	55.5%
		C 四 i	31	詩・実用的文章	空欄補充問題	レポートの内容把握	4	1	56.4%
		C 四 ii	32	詩・実用的文章	空欄補充問題	レポートの内容把握	4	2	55.5%
C 四 iii	33	詩・実用的文章	空欄補充問題	レポートの内容把握	4	3	64.8%		
難関	1	A (1)	34	漢字・語彙・文法	知識問題	季語の問題	2	1	46.5%
		A (2)	35	漢字・語彙・文法	知識問題	対義語の問題	2	3	71.8%
		A (3)	36	漢字・語彙・文法	知識問題	慣用句の問題	2	4	87.7%
		A (4)	37	漢字・語彙・文法	知識問題	「然」の読みの問題	2	2	67.5%
		A (5)	38	漢字・語彙・文法	知識問題	文学史の問題	2	3	33.7%
	2	B 一	39	評論・小説	内容把握問題	傍線部1の内容把握問題	6	4	58.0%
		B 二	40	評論・小説	内容把握問題	傍線部2の内容把握問題	6	1	40.5%
		B 三	41	評論・小説	内容把握問題	傍線部3の内容把握問題	6	2	65.2%
		B 四	42	評論・小説	理由説明問題	傍線部4の理由説明問題	6	3	42.2%
		B 五	43	評論・小説	理由説明問題	傍線部5の理由説明問題	6	4	42.3%
		C 一	44	詩・実用的文章	図表資料の読み取り	丙午の問題	2	4	49.4%
		C 二 i	45	詩・実用的文章	資料の読み取り	空欄Bの補充問題	4	3	32.8%
		C 二 ii	46	詩・実用的文章	文字資料の読み取り	空欄Cの補充問題	4	2	47.0%
		C 三	47	詩・実用的文章	内容把握問題	傍線部の具体的要因の問題	5	4	31.8%
C 四	48	詩・実用的文章	内容把握問題	生との会話の問題	5	2	18.5%		